

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2022
No.462

CO-OP
東都生協だより

11&12

今月の
メーカー

(株)ナガノトマト

それはどうみですか？ 資源ですか？

—東都生協の3R活動—

産地直結ひとすじ、いちばん頼れる生協に。

産直の東都生協



① トマトジュースイメージ ② 愛果(まなか)の苗と定植作業
③④ トマトの収穫

今月の
メーカー

株ナガノトマト



トマト倶楽部主催「トマト収穫援農」にて参加した組合員と(2022年8月)

おいしいトマトジュースの秘密は オリジナル品種「愛果」にあり

完熟トマトを一つずつ手作業で収穫

100% トマト果汁のみで作るジュース



細かな検査などもありますが、大まかな製造工程は次のようにとてもシンプルです。

ジュース製造工程

作業で収穫

「東都高原夏摘みトマトジュース」について
愛果を100%使用したストレートタイプのトマトジュース。トマト以外は何も入れていません。そのまま飲んでも、料理やデザートに使っても、変わらぬおいしさ。さらりとした飲み心地で、トマト本来の味わいが楽しめるため、トマトジュースが苦手な人にもお勧めです。

トマトジュースができるまで
 トマト(愛果)栽培スケジュール
 5月上旬…定植(畑に苗を植える)
 6月…開花(花は黄色)、受粉
 7月上旬…実が付く
 7月下旬…実が育ち、赤く色つき始める
 7月末〜9月末…完熟した愛果を一つずつ手作業で収穫

リコピン豊富、
真っ赤なトマトです



「甘味・うま味がぎゅっ」のトマトを加工…株ナガノトマト

信州松本平は、トマトの故郷・アンデス山脈の地域と気候が似た、トマト栽培にふさわしい土地。湿気が少ないため病気にもかかりにくいという環境で、日光をたっぷり浴びて露地栽培で育つトマトは、1日の寒暖差のおかげもあり、甘味・うま味がぎゅっと詰まっています。株ナガノトマトは、この恵まれた地で契約農家が育てたオリジナルブランドトマト「愛果」を使用し、トマト加工品などを製造しています。

「愛果」とは?

「おいしいトマトジュースを作るには、おいしいトマトを作ろう」と、株ナガノトマトが約10年もの研究期間をかけて開発したのが、オリジナルブランド加工用トマト「愛果」です。栄養素の「リコピン」が豊富なため、生食用トマトのピンク系と比較して赤系といわれるほど実が真っ赤に色づき、皮が固く、種やゼリー部分が少なく、果肉が厚いことも特徴の一つです。



生食用トマト(左)と愛果(右)



甘味・うま味濃く
飲み心地さらり

国産加工用トマトを守る活動にも一生懸命

株ナガノトマトは2009年8月、東都生協・ユニオンソース(現:オタフクソース)と共に、国産加工用トマトの消費拡大を目的とする「トマト倶楽部」を発足。貴重となった国産加工用トマトを守る活動を続けています。国産加工用トマト栽培支援として「1本1円募金」による支援品贈呈(冷却ベスト、空調服など)を行うほか、組合員の収穫援農や職員の産地研修なども企画・実施。また、組合員にトマト苗をプレゼントして栽培記録写真を応募してもらったフォトコンテスト、東都生協YouTubeでのトマトレシピ動画などの公開、組合員向けの学習会開催…と、トマトへの理解を深めるさまざまな活動を精力的に行っています。



東都高原夏摘みトマトジュース
(食塩無添加)
190g×30
11月4回 参考価格
¥3,100円(税込3,348円)

愛果(まなか)を使った商品 (トマトジュース以外)

- 東都トマトケチャップ(国産トマト) (300g)
- 国産つぶ野菜入り 信州生まれのケチャップ (295g)
- 国産野菜が主役のケチャップ (295g)

メーカーからのメッセージ
株ナガノトマト・上村萌さん
加工用トマトは露地栽培のため、近年の大雨や長雨、強すぎる日差しなど、異常気象の影響を大きく受けます。こうした厳しい状況の中でも、ご利用いただいている組合員さんの存在は確かな希望です。今後も、減少する国内加工用トマト生産を未来につなげられるように努めるとともに、変動する気象に合わせた愛果の品種改良も行っていく予定です。今年もよろしくお願いいたします。

それはごみですか？ 資源ですか？

— 東都生協の3R活動 —

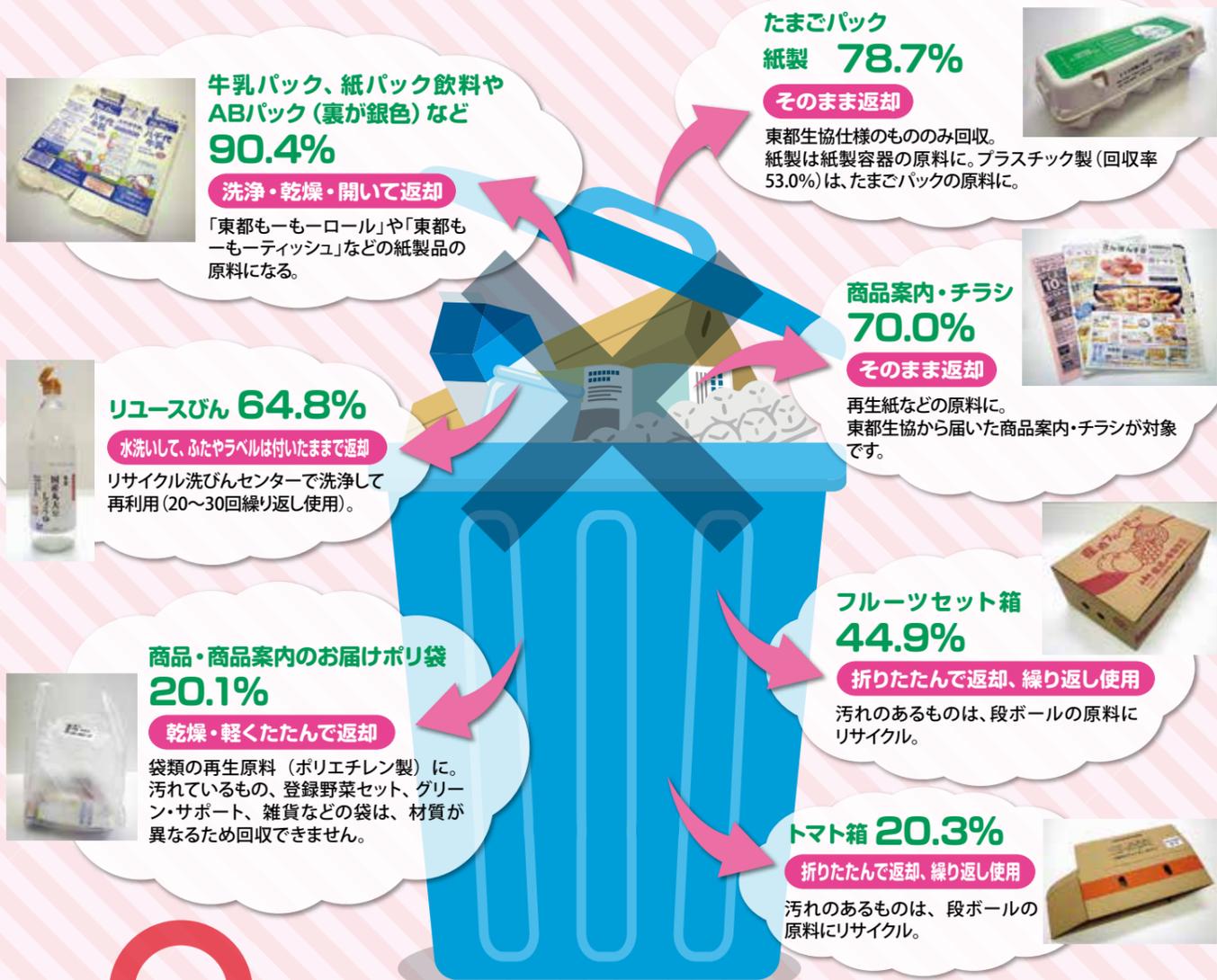
使用済みのびん、ポリ袋、包材などは回収すれば資源になります。東都生協は、循環型社会を目指して3R活動を推進。ごみ箱に捨てる前に「これは資源？」と考える… 一人ひとりの取り組みが、地球環境に優しくらしにつながります。

今回は持続可能な開発目標(SDGs)の12番、「つくる責任 つかう責任」に着目。東都生協の商品を利用し、東都生協に返却することで限りある資源を未来につなぐ活動を集めます。

12 つくる責任 つかう責任



東都生協のリユース・リサイクル回収実績 (2021年度)



コンテナにまとめて 供給担当者に渡そう!

資源循環型社会を目指して、東都生協で「無理なく、できることから」取り組んでみませんか。

東都生協の3R活動

Reduce リデュース	くらしの中で発生するさまざまな廃棄物を減らします。
Reuse リユース	できるだけ繰り返し使い続けます。
Recycle リサイクル	形を変えて再利用します。

◆10月2回週に配付した「リユース・リサイクルキャンペーン」チラシはご覧になりましたか? 東都生協ホームページでも見られますよ!(p.6下段を参照)

旬のレシピ



トマトヨーグルトムース

爽やかな酸味にクリーミーさも加わって美味!

材料(3人分)

- 水…………… 大さじ2
- ゼラチン…………… 5g
- 東都高原夏摘みトマトジュース… 1本
- 砂糖…………… 30g~40g
- 生クリーム…………… 70g
- ヨーグルト…………… 80g
- 飾りのフルーツ…………… 適量

作り方

1. 水にゼラチンを入れてふやかす。
2. 鍋にトマトジュース、砂糖、(1)のゼラチンを入れて火にかけて、混ぜて溶かしたら火を止め、粗熱を取る。
3. 生クリームをしっかりと泡立てる。
4. (2)の粗熱が取れたら鍋ごと氷水につけて、ヨーグルト、生クリームの順で加えて混ぜる。
5. 容器に流し入れ、冷蔵庫で冷やす。固まったらお好みのトッピングをのせて完成。

「リコピン」を効率的に取るには?

トマトに含まれる代表的な栄養素「リコピン」は、その抗酸化作用で注目されています。リコピンは熱に強く脂溶性なので、油と一緒に摂取すると体内での吸収率が上がります。というわけで、オリーブオイルで炒めた玉ねぎにトマトジュースを加えてパスタのソースなどにするのもお薦め。効率的に栄養が取れますよ。



Attention, please!!
[アテンション・プリーズ]

トマトジュースはお好きですか?
飲む以外、お料理にも利用されますか?
p.9のパズルの答えと一緒に送ってね。

もう一品 おすすめ メニュー

トマトパエリア

材料(米2合分)

- あさり…………… 200g
- えび…………… 8尾
- ブロッコリー…………… 1株
- ミニトマト…………… 10個
- パプリカ…………… 1/2個
- にんにく(みじん切り)… 1かけ分
- オリーブオイル…………… 大さじ2
- 米…………… 2合
- 水…………… 150ml
- コンソメ…………… 6g
- 東都高原夏摘みトマトジュース… 2本
- 塩・こしょう…………… 適量

作り方

1. あさりは塩水に1時間ほど漬けて塩抜きする。えび(殻付きの場合)は殻をむく。ブロッコリーは小房に分ける。ミニトマトは半分に切り、パプリカは細切りにする。
2. フライパンにオリーブオイルとみじん切りのにんにくを入れて、弱火で炒め、にんにくの香りが立ってきたら米は洗わずそのまま加え、米が透き通るくらいまで炒める。
3. (2)に水、コンソメ、トマトジュースを加えて混ぜ、ひと煮立ちさせたら(1)の食材を全てのをせ、ふたをして15~20分ほど加熱する。
4. 火を消し5分ほど蒸らし、塩・こしょうで味を整えて出来上がり。
※あさり・えびの代わりにシーフードミックスを使用してもOK



トマトはナスの親戚です!

トマトは野菜の中でも、実を食べる「果菜類」に分類されます。その名のルーツは、古代メキシコ語「ふくらむ果実」という意味の「トマトル(tomatl)」。じゃがいもと同様、16世紀にスペイン人が南アメリカからヨーロッパに持ち帰りました。びっくりなのはトマトとじゃがいもは同じ「ナス科」の野菜だということ。ちなみに、ピーマンやトウガラシも同じナス科です。実の形は違っても、みんな花の形は似ています。



(参考:農林水産省ホームページ)

トマトの花

資源循環型社会に向けた東都生協の取り組み

「東都生協の環境方針」「東都生協のSDGsに対する基本方針」「東都生協の2030持続可能な環境・社会の実現に向けた政策」に基づき、安心して暮らせる持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます

③ 回収・再生品利用で生産者を応援

東都もーもーシリーズは、牛乳パックなどの紙パックを原料にして再生した商品です。牛乳パックを資源として出して、また使うことで「リサイクル」！ 加えて八千代牛乳の生産者を応援する、産地の千葉北部酪農農業協同組合への寄付にもなります。

回収時のポイント！

- 飲み終わった紙パックは軽く水洗いし、開いて供給時に返却。
- 裏にアルミ箔が付いている商品もOK。



アレコレ、ごみ事情！

家庭ごみ、日本人1人当たり約1キロ！

2020年度の産業廃棄物以外の一般ごみ総排出量は4,167万トン（東京ドーム約112杯分）。1人が1日に出すごみ排出量に換算すると901グラムになります。

毎日、お茶碗1杯分を捨てている!?

2022年度の日本の食品ロスは約522万トン。これは1人の日本人が毎日お茶碗1杯分の食品を捨てている計算です。また、食品の生産・流通だけでなく、処分にも多くのエネルギーとコストと環境負荷がかかります。

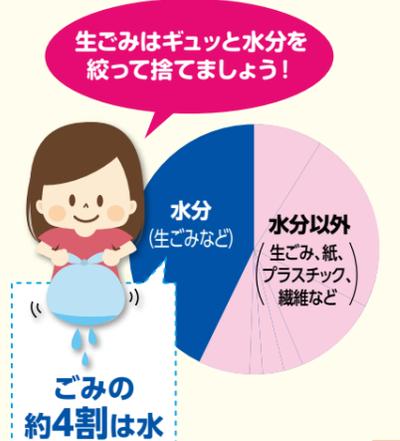
SDGsでは、2030年までに食品ロスの半減を盛り込んでいます。

参考:環境省ホームページ、農林水産省ホームページ、一般社団法人産業管理協会 資源・リサイクル促進センターホームページ、東京二十三区清掃一部事務組合ホームページ、墨田区ホームページ

可燃ごみの約4割が水分！

可燃ごみの種類と重量を水分と水分以外に分けると、約4割が水分で、その多くは生ごみという調査結果もあります。

- ◎一絞り後、乾かしてから捨てよう！
…生ごみの水分も、かさも大幅減。焼却のための時間が短縮し、余分な二酸化炭素の発生を抑えることができます。
- ◎生ごみの臭いの主な原因は、水分！
…生ごみの水切りをきちんとすることで、臭いが抑制できます。生ごみ処理機本体の助成をする自治体もあります。できることから行動しましょう。



冷蔵庫を見直し、目指せ！食品ロスゼロの達人！

- 「飲みもの」「調味料」「生もの」など 同じ種類でまとめる。
- ぎゅうぎゅうに詰めずにフリースペースをつくる。
- 同じ場所に同じ食品を置く。期限の近いものは目立つ所に置く。
- 買い物の前に冷蔵庫をチェック。

まとめ

東都生協では回収したモノをごみにはせず、次のステージへと進めます。使用済みの容器・包材などをごみにするか資源にするかは私たち次第。日常の行動を今一度再確認し、ごみ箱に入れる前に、「それが資源となる未来を考えてみましょう。」

また、食品ロスも深刻な問題です。環境省のホームページから「食品ロスダイアリー」が確認できますよ！

① 商品や商品案内お届け用のポリ袋のリサイクル

東都生協の供給センターに集められたポリ袋は(株)山田洋治商店が回収し、再生化を担当する(株)岩井化成へ送られます。再生原料を使うことでCO₂を削減しています。

【回収から再生までの流れ】



(株)山田洋治商店

1967年創業以来、古紙を再生利用し、「循環型リサイクル」に積極的に取り組む。古紙に限らず、循環型社会の更なる発展を支え、リサイクルの可能性を追求。

コメント リサイクル事業部 加藤勉さん

2005年より東都生協様の配送センターから古紙類(商品案内・段ボール・OCR注文書・雑紙)を回収・リサイクルしています。コロナ禍で生活スタイルが急変し、家庭ごみの量が増えています。リサイクル方法を研究する一方で、ごみを出さない工夫も必要です。リサイクルまで考えた物づくり、再生可能・持続可能な商品を選ぶことを大切に、子どもたちに誇れる日本を残したいと思います。

ビニール袋とポリ袋は違う! ビニール袋は「塩化ビニール樹脂製」で、ポリ袋は「ポリエチレン製やポリプロピレン製」。レジ袋などとして市販されているポリ袋は、燃焼しても有害ガスなどが発生する心配はありません。

② 廃棄物をできる限り出さない!

東都生協では、ポリ袋の再生利用以外にも食品廃棄物・食品ロス、資材の削減を進めています。2021度の廃棄物排出量は172トン(前年比90.5%)でした。

脱プラスチック

- 商品包材の縮小、減量、トレーの廃止に取り組んでいます。
- ①青果小分け用の包材を5ミクロン薄くしてプラスチックを25%減
- ②青果の結束テープや果物を保護するフルーツキャップをバイオマス素材に切り替え
- ③使用済みシッパー(発泡スチロール製保冷箱)は溶融して再生プラスチック原料に
→2021年度は39トンのリサイクルしました。

「もったいない」を形にするさまざまな取り組み

天候の影響などで余剰青果が発生した場合は、低価格供給商品「グリーンサポート」「東都みのりサポート」や、果物産地の支援企画「フルーツサポート」などで、商品利用につなげています。

インターネット注文利用登録者の「商品メール」配信希望者を対象に余剰青果物の新供給システム「Ecology Marche (ECOマル)」をスタート。一部商品については、メーカー在庫限界を3分の1(お届け時に賞味期限が3分の2残)から2分の1に変更するなど、商品廃棄の削減に取り組んでいます。

「リユース・リサイクルキャンペーンクイズ」に応募しよう!

クイズに回答して供給時に提出、またはチラシ・ホームページ内の二次元コードから応募すると、正解者の中から抽選で50人の方に「東都純米料理酒」をプレゼント! 応募は12月9日(金)まで。詳細は、チラシまたはホームページ(右記の二次元コード)をご覧ください。





A～Eの順に並べてできる言葉は？
ヒント：冬の鍋料理には必須？

1			7	
	B			E
		6		
2	4		C	9
		5		
3			8	A

タテのカギ

- ① 招き寄せること。「観光客を〇〇〇する」
- ④ 家に出たら縁起が良いとされる爬虫類
- ⑥ 建築材料の一つ。東京駅赤〇〇〇駅舎
- ⑦ 〇〇〇のクローバー、見つけたらラッキー
- ⑨ モノが二重に見えたり、ぼやけて見えたり

ヨコのカギ

- ① かんきつ類。〇〇ポン酢、〇〇こしょう
- ② 刀で斬り合うこと。〇〇〇〇映画
- ③ 人として守るべき道。〇〇人情に厚い人
- ⑤ 大正ロマン時代のおしゃれ女子の呼び名
- ⑥ 人気店はいつも行〇〇！ 整〇〇乗車
- ⑦ 〇〇望、自己顕示〇〇
- ⑧ 世帯〇〇、地〇〇

正解者から抽選で、10人の方に
図書カードをプレゼント！

発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

MOGMOG ホームページからも
応募できます！

<https://www.tohto-coop.or.jp/mogmog/>

クイズの答え、おたより、写真、イラストなど、はがき
または、ホームページから送ってね。上記のアドレスある
のは、右の二次元コードからアクセスしてください。



はがきで応募する場合は、
下記の内容を書いて送ってね。

- クイズの答え
- 住所/氏名(お子さんの場合、年齢または学年)/組合員コード/ペンネーム(希望の方)
- トマトジュースは好きですか？ どんな使い方をされていますか？
- 「食の未来づくり運動」のために「私にできること」「私の宣言」はありますか？
- 特集やその他の記事へのコメントや感想、イラスト、写真など、なんでもどうぞ！

※おたよりや個人情報は、『MOGMOG』(インターネット含む)でご紹介する場合がありますが、編集目的以外での使用はいたしません。(おたよりは、リライトして掲載する場合があります)
※おたよりへの個別回答は行っていません。

10月号の答えは、
「サルスベリ」だよ
締め切りは
11月23日(水)の
消印まで有効。

あて先 〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6
吉崎ビル4階 「MOGMOG」係

Q 国産米の消費拡大のため、また小麦アレルギー対応のため、東都生協は米粉の利用促進を行っていると思いますが、米粉使用製品はあっても米粉そのものはごくたまにしか見掛けません。継続的な米粉企画を望みます。

A 現在、「パウダーライス(米粉)」を月1回の頻度で企画しています。次回予定は12月1回です。手作りの料理をされる方や、小麦アレルギーの対応などに考慮し、今後毎月1回の企画サイクルを維持していきま



Q 「きょうさんふきん」の案内が半年以上見つかりません。次回企画を教えてください。「セモラ」は毎回載っています。きょうさんの商品を分かりやすく紹介するコーナー、チラシなども工夫してほしい。

A 「きょうさんふきん」は、現在6〜7週に1回の頻度で企画しています。今後は12月2回、1月4回、3月2回を予定しています。「セモラ」「セモラスポンジ」は「さんぼんすぎ」p.64の「まいしゅうたのめます」に掲載していますが、「きょうさんふきん」は紙面スペースの関係で掲載していません。「さんぼんすぎ」紙面で案内するときは次回企画を表記しています。また、年に1回は「さんぼんすぎ」の巻頭にて「セモラ」を主体としたきょうさん商品の特集ページを設け、広報しています。

利用ください。

Q 「東都トマトケチャップ」はびん入りなので、使うときはスプーンが必要になります。何度もスプーンを入れるのは衛生面で抵抗があります。別の容器を考えた方がいいです。

A 「東都トマトケチャップ」はトマトの繊維や果肉感をあえて残り、トマトそのもののおいしさを残すように仕上げられています。チューブタイプの容器にすると、果肉部分を残して水分だけがチューブ口から出てしまう可能性があるため、びんタイプを採用しています。

以前はスプーンを使わないで済むように、衛生面に配慮してスプーンの入れにくい狭口びんにしていましたが、組合員から「スプーンが入れにくいので傾けて使用しているが、量の調節ができない」との声を多くいただき、今回の広口びんに改良した経緯があります。本商品の特性をご理解いただき、びんを傾けて量を見ながらご使用いただき、別容器に移してご使用ください。



Q 即席冷やし中華しょうゆ味「や」おせんべい」など、かなり多くの食品にカラメル色素が使われています。生協ブランドの商品には使用していないのか、外部の商品で使われているものは大丈夫なのか、カラメル色素の安全性について教えてください。

A カラメルおよびカラメル色素には4つの製造方法があります。

- カラメルI 単に砂糖など糖類を加熱して製造。この製法は他に比べコストはかかるものの、毒性はなく非常に安全性が高いとされています。ご家庭でプリンなどを作る際に砂糖を煮詰めて作る方法と同様です。
- カラメルII 糖類に亜硫酸化合物を加えて加熱して製造。現在、日本ではこの製法は禁止されています。
- カラメルIII 糖類にアンモニウム化合物を加えて加熱して製造。東都生協の商品には使われていません。
- カラメルIV 糖類に亜硫酸化合物およびアンモニウム化合物を加えて加熱して製造。東都生協の商品には使われていません。

「カラメル色素が危険」というよりも、製造方法が問題になります。IIは日本では禁止されていますが、IIIとIVは安価なため、まだ使用される傾向があります。東都生協の取扱商品で「カラメル」または「カラメル色素」が使用されている場合、製造方法が「カラメルI」であることを確認しています。これからの安心にご利用ください。



- クイズ応募はがきで見つけた、コメント紹介
- 環境負荷を削減させるために、紙やびんなどのリサイクルを行います。 世田谷 大沼陽子
 - 脳の老化防止のためもあり、隔々まで『MOGMOG』を読んで楽しんでいます。 中野区 堀江渥子
 - 高原露地トマトが終了して、私の夏も終わったと感じました。今年甘くて濃くて絶品でした。毎年悪化する天候に負けずおいしいトマトを作ってください生産者には感謝です。 世田谷区 こっこ
 - コロナ禍が収束したら、東都生協のいろいろな活動に(オンラインではなく)参加してみたいと楽しみに思っています。 世田谷区 横山貴和子
 - かぼちゃ、おいしいのでいつも注文しています。 足立区 古地八重子
 - 「産直平飼いたまご」の大切さを知り、利用しています。今後も動物や人に優しく、すみ良い地球を子どもたちに残せる生活をしていきたい。 地域でコンポストを広めています。 狛江市 後藤優美
 - 今度、Web限定ポイントが付くようなので、うれしい。 足立区 黒田美土里
 - 「さんぼんすぎ」の紙面が大きく見やすくなりました。 中野区 瀧ヶ崎宏子
 - 東都生協の食材で育って2人の子どもの成人しました!! おいしくて安全・安心な東都生協の食品が大好きです♡ 杉並区 はるるん
 - 商品ふかぼり交流会の報告を読みました。商品のことを知ることができていいですね。 世田谷区 あっこちゃん

「夏休み親子企画」 木の枝でつくる森の虫たち

7月24日 第8地域委員会

工作キット(昆虫4種)を使った親子工作体験。足と角は自分で作ってもらえるように小枝も準備しました。講師の地域コーディネーター、サポーター、お父さんたちが、枝の切り方などをアドバイス。1時間ほどで仕上がりました。「自然の木が良い」「かっこいいクワガタやカブトムシが作れてうれしい」と子どもたちは大喜びでした。工作後は、日本の森林と作物についての紙芝居。「今回のキットは、荒れて手入れもされていない宮城県杉林の『除伐材』を利用しています」というお話から、国産材、輸入材、国産作物や環境保全などを学びました。親御さんからも、「子どもにも分かりやすかった」と好評でした。



平和を考える 浅川地下壕の見学会

8月7日 第6地域委員会

浅川地下壕(八王子市)は、第2次世界大戦下に高尾駅(旧浅川駅)西南側の山稜に陸軍の倉庫として掘られ(総延長10km)、終戦間際には軍用機エンジンを製造するために使われました。講師の浅川地下壕を守る会・中田均さんの説明を聞きながら、高尾駅から現地へ。地下壕内は岩肌がむき出しで足元は真っ暗なため、懐中電灯で照らし、ヘルメット着用で見学。ダイナマイトを詰める穴・ロッコの枕木など当時の面影が残り、「高尾にこんな施設があったとは」「この地下壕のことを広めたい」という感想も。同守る会は月1回見学会を開催、近隣の高校生たちも浅川地下壕を保存し伝える活動を始めているそう。戦跡を守り、平和を伝えていく必要があると、改めて考える機会となりました。



1999年、隠されていたたくさんのダイナマイトが発見され、自衛隊が撤去するための足場がここに組まれた

ウクライナの方に聞く —ロシアによる侵攻—

8月25日 第3地域委員会

来日されて15年、愛知県在住のナターリヤさんとアンジェリカさんを迎え、ウクライナの歴史や文化、戦禍の中で暮らす人たちの現況を伺いました。破壊された街、不自由な地下室での生活、子どもの病気、市民への無差別攻撃におびえる日々。報道では感じ取れない、残忍で凄惨な被害を伝える生の声に胸が詰まります。

「全世界でこの戦争を止めないと、さらに被害が広がる」「世界の平和は努力しなければつれない」…辛い心情の中、語られたお二人の言葉を心に刻みました。

*この企画は会場とオンラインで60人を超える参加がありました。



「日本ウクライナ文化協会」副理事長のナターリヤさんとアンジェリカさん。両国の文化交流や避難民の受け入れなどの活動を続ける

「組合員組織と活動のあり方 今後の進め方説明会」

第48回通常総代会(6月16日開催)で確認された2022年度方針の中の活動計画の一つ、「組合員活動のスタイルについての見直しの議論」を進めるための説明会が始まりました。10年前と比べ、組合員の生活スタイルも変わってきています。多くの組合員がこれからの活動や東都生協に関わっていきけるように、1人からでも参加でき、地域のつながりにも目を向けたスタイルを組合員と共に検討していきます。

初めに6月末〜7月初頭にブロック委員会を対象とした説明会を行い、合計112人の委員が参加しました。全体で「組合員組織の現状と課題」と「これからの組合員活動のめざす姿(骨子案)」について理事会が説明。質疑応答の後、全体または少人数のグループに分かれての意見交換を行い、たくさんの意見が出されました。

参加者からは、「ブロックや地域の枠にこだわらず活動ができるようにしてほしい」「地域に根差した活動を続けていきたい」「ブロック・とーと会・サークルを一本化した活動がイメージできない」「ブロック委員会をなくすと聞いて驚いている」などの意見・感想がありました。

8月末には2021年度総代、とーと会、サークル、自治体別連絡会への説明会も実施しました。今後も総代会議や各地域連絡会で、さらに意見を聞く機会を持ちながら、理解を深めていきます。活動に参加されていない組合員から意見を伺う機会も考えています。



1回の計5回開催
集会所4回とオンライン型



理事会報告(抜粋)

〔2022年度第4回定例理事会 2022年8月18日開催〕

〔審議事項〕●毛記事業約款改正の件

〔報告事項〕●2022年7月度決算報告●各部署業務報告●組合員活動委員会報告●商品活動関連報告●理事懇談会・研修会開催の件●キッチンスタジオ新設の件●Web注文サイト機能追加の件●常任理事会決議事項報告

〔2023年度第5回定例理事会 2023年9月16日開催〕

〔審議事項〕●「情報開示規程」に関する規程・細則の一部改正の件●第48回通常総代会に向けた理事会決議スケジュールおよび関連資料等の確認の件●2023年度役員改選手続きに関する件(その1)●第49回通常総代会委員等の構成確認の件●組合員組織と活動の新たなスタイル案確認の件(その1)●「アイガモロボ応援隊」募金実施の件

〔報告事項〕●2022年8月度決算報告●各部署業務報告●組合員活動委員会報告●商品活動関連報告●理事懇談会・研修会開催の件●常任理事会決議事項報告

〔今後の理事会日程(予定)〕●11月17日(木)・12月15日(木)

8月のわたしたち		
2022年8月20日現在 ※[]内は前年比		
組合員数	257,014人	[99.5%]
加入	3,189人	[90.2%]
脱退	3,355人	[79.5%]
総事業高	14,609,873千円	[94.2%]
共同購入事業	14,022,066千円	[94.2%]
弁当配食事業	156,560千円	[90.2%]
生活文化事業	84,979千円	[79.5%]
生活支援事業	28,944千円	[94.2%]
その他事業	317,323千円	[99.2%]
出資金	6,772,064千円	[101.1%]
1人当たりの出資金	26,349円	[101.8%]
1人当たりの利用高	6,118円	[99.2%]

今後の理事会日程(予定) ●11月17日(木)・12月15日(木)

東都生協2030年ビジョン ~食と農の感動体験を通じて、みんなの未来をシェアに~

「アイガモロボ応援隊！」募集



■有機米拡大の救世主

減り続ける有機米、生産者の高齢化や人手不足で除草に手が回らない…この問題を解決するのが「アイガモロボ」です。東都生協は、このアイガモロボを開発した有機米デザイン(株)に出資し、人と環境に優しい有機米の栽培を支援します。

■2023年、いよいよ市販化

2022年は、実証実験(無償貸与)として日本全国で210台のアイガモロボが稼働しました。東都生協では12の産直産地で18台が活躍。そして2023年新春、いよいよアイガモロボが市販化されます。

■「アイガモロボ応援隊！」募集

11月5回〜12月2回で、このロボットを生産者に贈るための「アイガモロボ応援隊！」を募集します。

みんなで少しずつお金を出し合っ(募金1口1,000円〜)、有機米の最大の課題を生産者と一緒に解決しませんか。募金をしていただいた組合員には、アイガモロボの活躍の様子や有機米の栽培、稲の生育の様子、生産者の生活や産地の情報をお届け予定。有機農業の意義を知り、生産者、産地のことを身近に感じ、収穫の秋を楽しみにお待ちください。

月1回、産地リレーで2kg米が届く、登録アイガモロボリレー米(仮称)も企画します。

募金の申し込み方法など「アイガモロボ応援隊！」の詳細は、11月14日(月)〜18日(金)配付の別チラシをご覧ください。

組合員が生産に関わり、産地を応援する仕組み

持続可能な社会を組合員と生産者が一緒に作る企画を、今後たくさん実現したいと考えます。例えば、みかんの苗を組合員が産地に贈り、耕作放棄地ではなく、みかんのある風景を残す取り組み(仮称:未来につなぐみかんの木)なども検討しています。

アイガモロボの仕組み

アイガモロボの動力は、自然エネルギーです(ソーラーパネルとバッテリー)。スマホアプリであらかじめ登録した田んぼに航路を設定し、搭載したGPSで自分の位置を確認しながら自動航行をします。

特殊な形状のスクリーが田んぼの泥をかき回し、田んぼを濁らすことで抑草をします。田んぼの表面の土はとろとろになり、芽を出した雑草も根付けず、アイガモロボが泥をかき上げたときに水面に浮いてきます。

朝、タイマーで目が覚めると、黙々とサボることもなく田をかき回し続け、夕方、田んぼの真ん中でお休みします。



JAやさと、東都生協組合員の実験田

2023年6月10日、東都生協は設立50年を迎えます。持続可能な社会の実現を見据え、2021年には「東都生協2030ビジョン」を策定しました。

「アイガモロボ応援隊！」は、組合員が生産に関わり、生産者と一緒になって、産地の自然と農業を守る取り組みです。食と環境への貢献を通じて、みんなでサステナブルな未来をつくりませんか!



食の未来づくり運動

私の宣言

食料自給率を上げたい。
お米を食べましょう!
(世田谷区 金子八千代)

無農薬・有機肥料栽培に努め、
野菜を一部自給しています。
(国分寺市 ビルク)

- 1 食料自給率の向上
- 2 日本の農業を元気に
- 3 持続可能な社会に向けて

1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

第18回東都生協平和のつどい —「奏でよう 平和のしらべ 届けよう 平和のメッセージ」—

7月31日、さんぽんすぎセンターにて、3年ぶりに集会型での「平和のつどい」を開催。参加者は延べ116人。メイン会場の地下ホールは、新型コロナウイルス感染防止対策のため、午前・午後への入れ替え制として人数制限を設け、チェロミニコンサートとお話会を実施しました。

「鳥の歌」から始まったチェロミニコンサート

「鳥の歌」は、1971年10月24日世界国際平和デーにスペイン出身のチェロ奏者、パブロ・カザルスが演奏したことで有名です。計6曲とアンコールを含めて、素晴らしい演奏をしていただきました。



皆さんの温かいまなざしに包まれて、心地よく演奏できました

阪田宏彰さん(右)
国立音楽大学卒業、YAMATO String Quartet 代表。

横山二葉さん(左)
東京音楽大学卒業、ハンガリー国立フランツ・リスト音楽院修了。

とーと会・麦藁帽子による朗読劇「この子たちの夏—1945・ヒロシマ ナガサキ」

(主な内容) 原爆投下直前までの日常が一変。被爆した子どもたち、子どもをみとった母親、みとれなかった母親。たくさんの悲痛な叫びと、原爆投下直後の地獄絵図を臨場感たつぷりに6人のメンバーが朗読しました。



麦藁帽子(第5地域 とーと会)
過去の歴史や社会問題について学び、朗読を通して平和を考える発表会などを開催。

1階では、「原爆と人間」パネル展、戦争ほうきや折り鶴作り、平和をテーマにした「しあわせフォト」スライドショーの上映などを行いました。

パネル展示「原爆と人間」



戦争ほうきコーナー



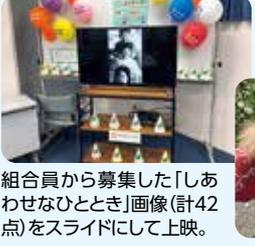
【戦争ほうき】組合員の入江篤子さんが考案したミニアクセサリー。「戦争反対」の意思表示として服の胸やかばんに付けます。

ピースニット



ピースニットカフェ(とーと会)、パッチワーク三本杉(サークル)から提供された、ニットのモチーフをつないだ温かい膝掛け。毎年東友会に贈っています。

しあわせフォトスライドショー



組合員から募集した「しあわせなひととき」画像(計42点)をスライドにして上映。

戦争が始まれば、平和な日常の全てが一瞬にして消えてしまうことに、平和のつどいに参加して改めて気付かされました。

チェロを習っている佐藤綾羽(あやは)さん(13歳)。熱心に演奏を聴いていました。



一般社団法人東友会 被爆者証言

熊田育郎さん 立川友の会(立川被爆者の会)会長
「生後8カ月に広島で被爆し、母親は被爆直後に他界。ちょっとした体の不調も被爆の影響と考え、常に死の恐怖を感じていました。後に肝細胞がんを発症、原爆症の認定を受けたことや被爆者としての苦悩を話され、核兵器廃絶を訴えました。



村田未知子さん (一般社団法人東友会 被爆者相談所相談員)
被爆者の高齢化による伝承の難しさや、40年にわたる相談員としての経験から被爆者の苦悩を語りました。「わが子に被爆者であることを告げられない人、原爆症に悩み自ら命を絶った人など、原爆がもたらす悲劇と苦しみを伝えることが私の使命」と村田さんの強い意志を感じました。

一般社団法人 東友会
東京在住の被爆者が結成。被爆者と家族のための事業・活動を続ける東京で唯一の団体。合言葉は「ふたたびヒロシマ・ナガサキをつくらせない」。東京都より被爆者の相談事業を委託されている。

参加者の感想



木脇真由美さん、大耀(たいよう)さん(11歳)。大耀さんは「戦争は絶対にしてはいけないと思った」と感想を一言。



右から林田理香子さん、怜子さん(8歳、最年少参加者)、侑里子さん(10歳)。被爆者証言を真剣に聞いていました。

なお、当日の様子(朗読劇上演・戦争体験お話し・チェロミニコンサートより4曲)は、動画配信でご覧いただけます。二次元コードからご視聴ください。
【配信期間:10月3日~12月31日】



組合員の皆さんからの平和募金は、戦争のない世界の実現に向けて共に学び行動するために活用しています。詳しくは組合員活動情報紙「ワオ」、ホームページなどをご覧ください。

今月のつばやき

2022年も残すところ、あとわずか。ついこの間、『MOGMOG』1月号を出したばかりなのに…あっという間に時が過ぎていきます。今年も多くの方々に『MOGMOG』を読んでいただき、お便りもたくさん頂戴し、ありがとうございました。来年もこの誌面でお会いできますことを楽しみにしています。あ〜1年ってほんとにはやいな(本当のつばやきでした)。(Y.K)

お問い合わせ 組織運営部
☎ 03(5374)4756
月曜〜金曜：午前9時〜午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階